

# 2025 年度事業報告書

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所

## 1. 活動の成果

2025 年度は、阪神・淡路大震災から 31 年目であり、神戸まちづくり研究所としては、NPO 法人としての新しい体制を定着させ、次の可能性を模索する時期であったように思います。2024 年度から、こうべまちづくり会館全体の指定管理業務が始まり、私たちの活動拠点としての位置付けを得ました。会館の運営は、館長はじめ新たに雇用した方も含めた職員の皆さんの奮闘と、会員の皆様のご助力により、軽微なトラブルはあるものの、当初の混乱の時期を乗り越え、着実に安定してきています。特に、4 階まちラボは、様々なタイプの方々に使われ、多様なまちづくりに対応した、多様なイベントが行われるようになり、神戸市域においても特色のある情報発信源となってきたように思われます。この会館を用いては、通常の活動とは他に、例年のように、1 月 16 日から 18 日までの三日間、会館全館を会場として、1.17 関連企画「こうべあいウィーク」を継続開催しています。今年も阪神・淡路だけでなく、現在進行形の能登復興支援など、復興まちづくりに携わる全国の方々の交流や情報発信が行われました。震災を起点としている私たちの初志を忘れないためにも、重要な取り組みと考えています。

能登復興支援については、先導的に現地に入られたベテラン会員を中心に、兵庫県と調整した結果、珠洲市へのアドバイザー派遣の仕組みがつけられ、制度上の担保を得ることができました。これにより、若手・若目会員、そして会員以外の方々も定期的に現地を訪れる体制ができています。そうした背景のもと、特に珠洲市においては、支援した多くの地区でまちづくり協議会が立ち上げられ、活動が次のステップへと向かうこととなりました。

一方、私たちの取り組みの中心的テーマである、現代の地域自治の課題においては、プロポーザルを通じ神戸市中央区での「マンションコミュニティアドバイザー派遣事業」に取り組むこととなりました。市街地中心部では、多くの住民がマンションに代表される共同住宅に居住しており、特に神戸市中央区では既に 9 割以上の割合を占めています。にもかかわらず、ほとんどの管理組合は、地域自治の活動に対して消極的もしくはほとんど関与していないのが現状です。その状況において、新たなコミュニティや地域自治のあり方を模索する試みは、困難でありつつ、重要であると言えるでしょう。今後 3 年間の事業の中で、何らかの成果やこれからのに向けた蓄積を得たく考えております。

また別に、これもプロポーザルを通じ、「神戸市総合計画基本計画策定に係るワークショップ等の企画・運営業務」に取り組みました。本年度策定に向けた総合基本計画の一層の周知と意見聴取を行うもので、私たち会員の持つワークショップスキルや、市民との関係づくりの経験が試される機会となりました。幸い、想定した結果を得ることができ、また神戸市の施策の今後の方針を確認するよい機会となり、この経験を今後の活動の展開に役立てていくことを目指しています。

他にも会下山地区へのアドバイザー派遣、各種研修事業や交流事業、情報発信も、継続的に進めてきており、それぞれの成果も得られています。一方、自動運転社会実装推進支援事業など、実施できないものもありました。また、会員間の交流や情報発信については不十分な点もあり、今後、その充実を図る必要があると考えています。

以上のような活動を通じ、経営的な面においては、こうべまちづくり会館指定管理業務を受託した当初に想定された困難を、ある程度克服し、均衡のとれた経営状態に近づけることができました。ただ、

未だ安定的な黒字体制を築けているわけではなく、今後より一層の改善を検討する必要性が残されています。

このように 2025 年度は、神戸まちづくり研究所にとって、活動体制や経営の安定を目指し、次の展開を模索した一年となりました。私たちの本来のミッションに即した活動と、経営的安定を両立させるためには、会員各位のご協力が不可欠であることを改めて認識し、その機会を創り出すことの必要性を感じておりますので、来年度もみなさまの活動へのご参加をお願いいたします。

## 2. 特定非営利活動に係る事業

### (1) 民間非営利組織、市民活動及びまちづくりに係る調査・研究・研修・政策提言

#### ■研修事業

##### ○研修受け入れ事業（自主事業・委託事業／2025年4月1日～2026年3月31日）

震災体験現地交流プログラムや、市民活動やまちづくりに関わる人々との交流・体験プログラムにて、各種団体の研修・視察を受け入れた。

##### ・タイ地方議員向け講演会（合同会社 K2 委託業務／2026年2月25・26日、3月29日）

2月25日・26日は、タイの首長および地方議員（約80名）、自治体職員（約50名）を対象に、「震災復興・まちのレジリエンス」および「市民参加・行政との連携」をテーマとして、神戸における復興まちづくりの実践や官民連携の取り組みについて説明・意見交換を行った。

3月29日は、タイ王国・タマサート大学（Thammasat University）の地方自治体研究継続教育プログラムの一環として、同大学関係者（学長・副学長等）およびタイ地方政府の幹部職員（約50名）による視察を受け入れた。当日は、市民参加を促進するコミュニティ空間のデザイン、自治体・大学・地域コミュニティの連携、住宅地等における地域活性化およびコミュニティ開発の戦略、多世代間交流を促進するコミュニケーション施策等をテーマに、説明および意見交換を実施した。

##### ○講座・勉強会事業（自主事業・委託事業／2025年4月1日～2026年3月31日）

講座・勉強会・セミナー開催や開催支援業務を受託した。

※まちラボで開催するものは（3）の会館自主事業として行う。

##### ・神戸市総合基本計画策定に係るワークショップ等の企画・運営業務（神戸市委託事業／2025年8月7日～2025年10月31日）

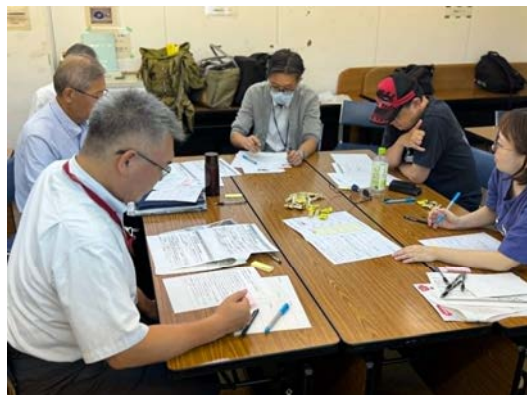
神戸市総合基本計画の改定に向け、「2035年の神戸の目指す都市像」に関する市民意見の収集および市政参画意識の醸成を目的として、ワークショップの企画運営を実施した。

ワークショップの実施にあたっては、行政が提示する都市像案に対する評価にとどまらず、市民一人ひとりが将来の神戸の姿を主体的に考え、自身の価値観や期待を言語化できる場となるようプログラムを構成した。特に、「自分がワクワクする神戸」「こうなってほしい10年後のまち」といった視点を重視し、グループディスカッションを通じて、多様な立場からの意見を引き出す工夫を行った。また、幅広い市民層の参加機会を確保するため、平日・休日、昼間・夜間など多様な時間帯に加え、市内各地域において複数回の開催を行い、参加しやすい環境づくりに努めた。さらに、SNS等を活用した情報発信や商業施設等での周知活動を通じて、これまで行政施策への関与が比較的少なかった層との接点づくりにも取り組んだ。

当日の運営においては、会場設営、受付対応、進行管理、ファシリテーション、資料作成、記録撮影等を一体的に実施するとともに、参加者が安心して意見交換できる対話の場づくりに配慮した。また、ワークショップ終了後にはアンケートを実施し、参加者の理解度や満足度の把握に加え、将来の都市像に関する意見の整理・分析を行い、総合基本計画策定に資する基礎資料として取りまとめた。

これらの取組みにより、市民が将来の神戸の姿について主体的に考える機会を創出するとともに、多様な視点に基づく意見を収集することができた。また、参加を通じて市政への関心や参画意識の向上が一定程度図られたことから、今後の計画策定に向けた市民参画の基盤形成にも寄与する成果が得られた。

一方で、参加者の年齢構成において中高年層の割合が高く、若年層の参加が限定的であったことから、今後は大学生や子育て世代など若い世代へのアプローチ手法の工夫が課題として挙げられる。今後同じような内容の事業を受託するなら、オンライン会議システムの活用やテーマ設定の工夫、関係機関との連携強化等により、より多様な主体の参画を促進していく必要がある。



(写真) ワークショップ



(写真) まちかど PR

### (1) ワークショップの開催概要

本ワークショップは、神戸市基本計画の策定にあたり、市民の多様な意見や価値観を反映させることを目的として実施したものである。

参加者が神戸の将来像について自ら考え、対話を通じて意見交換を行うことを重視し、グループワーク形式で進行した。また、ワークショップを実施するにあたり、様々な曜日や時間帯、地域で開催することで、市民が参加できる機会を幅広く設けるよう工夫した。

これにより、幅広い年代・立場の市民から多様な意見を収集することができた。

月	日	曜	開始 時間	終了 時間	場所	参加 者数
9	5	金	10:00	11:30	駒ヶ林会館	21
9	10	水	18:30	20:00	ひよどり地域福祉センター	22
9	12	金	18:30	20:00	垂水区文化センター	8
9	16	火	18:30	20:00	西区文化センター	7
9	20	土	10:30	12:00	東灘区文化センター	11
9	22	月	18:30	20:00	北区文化センター	5
9	23	火・祝	10:30	12:00	こうべまちづくり会館	10
9	23	火・祝	13:30	15:00	こうべまちづくり会館	4
9	23	火・祝	16:00	17:30	こうべまちづくり会館	2
9	23	火・祝	18:30	20:00	こうべまちづくり会館	6
9	25	木	10:30	12:00	こうべまちづくり会館	10
9	25	木	13:30	15:00	こうべまちづくり会館	5
9	25	木	16:00	17:30	こうべまちづくり会館	4
9	25	木	18:30	20:00	こうべまちづくり会館	2
<b>合計</b>						<b>117</b>

実施回数 | 14 回

## (2) まちかど PR の実施概要

神戸市総合計画の検討にあたり、ワークショップと並行して、商業施設等で「まちかど PR」を実施した。本取り組みは、買い物など日常生活の延長線上で気軽に意見を伝えられる形式を採用することで、市政への参画意識が希薄な層に対しても関与への足がかりをつくることを目的とするほか、ワークショップへの参加を促す広報的な役割も担った。

月	日	曜	開始 時間	終了 時間	場所	参加 者数
8	11	月	10:00	18:00	こうべまちづくり会館	5
8	12	火	10:00	18:00	こうべまちづくり会館	5
9	8	月	10:00	11:30	玉津のつどい場 たまろっと	15
9	9	火	18:30	20:00	玉津のつどい場 たまろっと	12
9	11	木	18:30	20:00	コープ神戸西	7
9	12	金	18:30	20:00	コープ神戸西	5
9	15	月・祝	10:30	12:00	コープ北鈴蘭台	8
9	16	火	18:30	20:00	コープ北鈴蘭台	10
9	27	土	10:30	12:00	イオンモール神戸南	15
9	28	日	16:00	17:30	イオンモール神戸南	12
合計						84

## (2) 民間非営利組織、市民活動及びまちづくりの支援事業

### ■会館管理運営業務

○神戸市立こうべまちづくり会館の管理運営業務（神戸市委任事業／2025年4月1日～2026年3月31日）

神戸市立こうべまちづくり会館条例及び条例施行規則、並びに会館の指定管理者応募要領における指定管理者が行う業務の管理基準及び当研究所が提出した会館の事業計画書に記載する提案に従い、会館の指定管理者として、以下の業務を行った。

#### 1) 貸館事業に関する業務

令和7年度の入館者数は**351,443**人で、令和6年度の入館者数337,502人、令和5年度の入館者数307,769人、令和4年度の入館者数284,378人と、コロナ禍以降毎年度増加及び過去最高値を更新している。会議室等の稼働率は令和5年、令和6年度と比べるとB1ギャラリーは76.8% (R5) →77.1% (R6) →**98.3% (R7)**、2階ホールが30.7% (R5) →35.5% (R6) →**40.5% (R7)**、3階多目的室が34.8% (R5) →40.7% (R6) →**47.1% (R7)**、6階会議室の稼働率は47.1% (R5) →47.5% (R6) →**54.2% (R7)**で、2年続けて全フロアにおいて増加した。令和7年度の会館利用件数は一般利用1,021件と減免利用481件、合計1,576件で、令和6年度の1,356件と比較しても大幅増となり、令和5年度の788件に対しても約2倍の件数に上昇している。(令和5年度は前指定管理者による)

また、スタッフ戸川が中心となるB1階ギャラリー企画「勝手に元町(栄町・乙仲含)文化遺産」「あつまれ!元町を愛する人たち Vol.2」も開催されたほか、他の貸室利用者が待ち合わせに4階まちラボ

を利用するケースが増えるなど、従来無かった会館内での移動や回遊性も生まれつつある。

## 2) 施設及び設備の維持管理に関する業務

仕様書に沿って適切に施設の維持管理を行った。定期清掃や定期点検など設備機器保守管理を令和5年度に委託していた株式会社日昌ライフサポートから株式会社大和研装社に切り替えた。合わせて夜間機械警備にあたるセコムなどの一部は管理会社を挟まず直接契約をするなどして、約150万円の大幅なコストカットを生み出した。



(写真) あつまれ!元町を愛する人たち Vol.2 説明会

修繕については、限られた予算の中で優先順位をつけて実施。令和6年度から跨る形で進めてきた2階ホールの音響設備老朽に伴う更新が完了、3階多目的室のミキサーとワイヤレスマイクも更新。懸案だった老朽化した音響関連を一新できた。そのほか必要に応じてトイレや防犯カメラの修繕などを行い、修繕費予算の200万円以内で修繕効果が得られた。

消防訓練については、法令に基づき12月と3月の2回実施した。

## 3) その他施設の維持管理・運営に付随する業務

まちづくり事業としては、まちづくり専門家として辻氏によるまちづくり相談を不定期に実施。内容としては、令和5年度に引き続き神戸市各所の協議会相談や公園の使い方など。

まちづくりに関する情報収集及び情報提供の場として、4階まちラボにて神戸の活動団体ニュースアーカイブと新着図書コーナーの継続と拡充、まちづくり関係図書の収集や紹介を行なった。また、商店街・地域の賑わいづくりの一環として、ウクレレなどの音楽を使った「お天気の会」を会館正面玄関でのイベントを継続して不定期で行なった。令和6年度に引き続き、イベントを併催することで商店街における賑わいを兼ねた新たな層の利用や、まちづくり活動への参加を促した。



(写真) 近隣のお粥屋さんとのコラボした「お天気の会」

1階休憩スペースの活用及び地域連携の一環として、令和6年度に設置した授乳室の令和7年度における利

用者は445人(令和7年4月～9月は200人、令和7年10月～令和8年3月は245人)と、昨年度だけ見ても右肩上がりに利用者が増加していることがわかる。月一回行われる四丁目商店街の理事会も令和6年度に引き続きまちラボにて開催。今後も継続予定である。

10月にゲストハウスMAYA、11月に元町高架下、翌2月に神戸北野ノスタで館長が出張でイベント登壇。こうべまちづくり会館およびまちラボのPR活動を行った。

## ■被災地支援事業

### ○復興まちづくり支援事業 (自主事業/2025年4月1日～2026年3月31日)

兵庫県とAAR Japanからの支援があったため、自主事業としては実施していない。

## ○ひょうご復興まちづくりアドバイザー派遣事業（兵庫県／2025年4月1日～2026年3月31日）

復興に向けて住民が主体的に取り組むまちづくり活動を支援することで兵庫県における復興まちづくりに係る専門家を育成する事業を使い、石川県珠洲市の支援を行った。

- ・4月17～20日（金～日） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：野崎（隆）、初田、山本 / 派遣先：正院、市役所、蛸島、飯田
- ・5月22～25日（木～日） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：野崎（隆）、辻、東末、北村 / 派遣先：正院、市役所、上戸、蛸島、宝立
- ・6月12～15日（木～日） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：野崎（隆）、辻、初田、北村、東末 / 派遣先：正院、飯田、蛸島、宝立
- ・8月7～8日（木～金） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：辻、初田 / 派遣先：飯田、市役所
- ・8月21～25日（木～月） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：野崎（隆）、松原、初田、東末 / 派遣先：正院、宝立、市役所、飯田、蛸島
- ・10月3～4日（木～日） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：野崎（隆）、山本、北村 / 派遣先：市役所、蛸島
- ・11月6～7日（木～金） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：辻、初田 / 派遣先：市役所、飯田
- ・12月4～5日（木～金） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：辻、初田 / 派遣先：市役所、飯田
- ・12月18～20日（木～日） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：野崎（隆）、前田、東末 / 派遣先：金沢大学、蛸島、宝立
- ・2月5～7日（木～土） 石川県珠洲市  
派遣メンバー：野崎（隆）、辻、初田、東末 / 派遣先：市役所、飯田、正院、金沢大学、蛸島

## ○金蔵地区のまちづくり復興支援（認定 NPO 法人難民を助ける会[AAR Japan]／2025年4月1日～2026年3月31日 ※覚書は2025年2月1日～2025年9月30日、2025年10月1日～2026年5月31日）

能登半島地震で被災した石川県輪島市金蔵地区を対象に、地域住民主体の復興まちづくり協議会の組織化を目的として、AAR Japan と覚書を締結し、支援を行った。

- ・4月17日（木） 金蔵集会所 区長らと意見交換
- ・5月22日（木） 金蔵集会所 区長らと意見交換
- ・7月10日（木） 金蔵集会所 区長らと意見交換
- ・8月23日（土） 金蔵集会所 金蔵にとっての復興を考える座談会
- ・10月4日（土） 金蔵集会所 金蔵にとっての復興を考える座談会
- ・11月23日（日） 仮設住宅 金蔵にとっての復興を考える座談会
- ・12月20日（土） 金蔵集会所 座談会の振り返り
- ・2月7日（金） 金蔵集会所 金蔵にとっての復興を考える座談会
- ・3月7日（土） 金蔵集会所 区長らと意見交換

## ■自動運転社会実装推進支援事業

### ○自動運転社会実装推進支援事業（株式会社みなと観光バスからの委託事業）

実施せず。

## ■マンションコミュニティアドバイザー派遣事業

### ○マンションコミュニティアドバイザー派遣事業（神戸市委託事業／2025年5月13日～2026年3月31日）※業務の期間は、2025年5月13日～2028年3月31日の3年間。

本事業はマンションにおける住民同士の関係性の希薄化や高齢化、防災面での課題等を背景に、住民主体のコミュニティ形成を支援するためアドバイザーを派遣するものである。初年度である令和7年度は、主にアドバイザー派遣制度の構築と周知、モデルマンションの選定を中心に取り組んだ。

事業推進にあたっては、全体会議を概ね月1回（5月～3月で約10回）開催し、方針検討や進捗共有を行った。具体的な取り組みとして、広報活動のほか、2025年9月15日にマンションライフフォーラムを開催（参加者18名、7マンション）し、意見交換を通じて課題共有と関心喚起を図った。また、2026年2月14日・21日・3月1日の全3回でコミュニティデザインセミナーを実施し、事業の案内とともに専門家による講話と参加者同士の交流の機会を提供した。

10月には派遣候補となる5件のマンションへのヒアリングを実施し、管理組合の状況や課題、ニーズを把握した。その後、11月以降は理事会等への参加を通じて関係構築を進め、最終的に2件（ザ・パークハウス神戸タワー、新神戸アパートメント）へのアドバイザー派遣を開始した。

マンション選定については5件程度を目標としており、残り3件の選定が次年度に持ち越された。チラシ配布等による広報の効果やセミナー参加者数の伸び悩みなど、周知手法に課題が見られる。今後は、より効果的な情報発信と多様な主体へのアプローチを強化し、マンションの選定を進め、モデル事例の蓄積と他マンションへの波及を図っていく必要がある。



（写真）マンションライフフォーラム

## ■アドバイザー派遣事業

### ○神戸市まちづくり専門家派遣によるアドバイザー派遣（2025年4月1日～2026年3月31日）

神戸市地域団体（会下山地区まちづくり協議会）より派遣依頼があり、会議の開催等にあわせてアドバイザーを派遣し専門的なアドバイスを行った。会議等7回実施。

### ○神戸市まちづくり専門家派遣によるコーディネーター派遣（2025年11月29日～2026年3月31日）

神戸市地域団体（狩口台全体団地みらい協議会準備会）より派遣依頼があり、会議の開催等にあわせてコーディネーターを派遣し専門的なアドバイスを行った。会議等4回実施。

## ■相談事業

通常業務としての相談は受けているが、収益事業としては実施せず。

### (3) まちづくり及び地域再生のために必要な事業

#### ■会館自主事業

#### ○会館 4 階一部借受スペース活用事業（自主事業／2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

こうべまちづくり会館の 4 階の一定スペースを神戸市から目的外使用として借り受け、活動場所として貸出、物品販売、講演会等の活動を展開する。神戸市との契約により収益事業を行うことも可能であるため、有償の事業としてまちラボで開催している。

その一環として、令和 7 年度における有料でのラジオブースやワークショップ利用は 28 件だった。

その他、浅見副理事長による AI 講習会や荒川区議会議員の視察受入、一般社団法人こうべ団地みらい創生機構へのワークショップ講習会、常連の方によるサイエンスワークショップなどの利用が年間を通して行われた。カウンターのカフェテリアにてコーヒーマシンでの有料コーヒーや、従来品に加えて新しい地ジュースの「アップルサイダー」の販売も昨年度より取り扱いを開始している。件数は 1,042 件（昨年度は 1,047 件）。内訳としてはコーヒーマシン 654 件（昨年度は 465 件）、地ジュース 388 件（昨年度は 582 件）だった。2026 年 10 月からは POS レジ端末「square」導入に伴い、飲料やコピーなどの金銭授受をスタッフの各パソコンからアクセスできるデータ管理が可能となった。

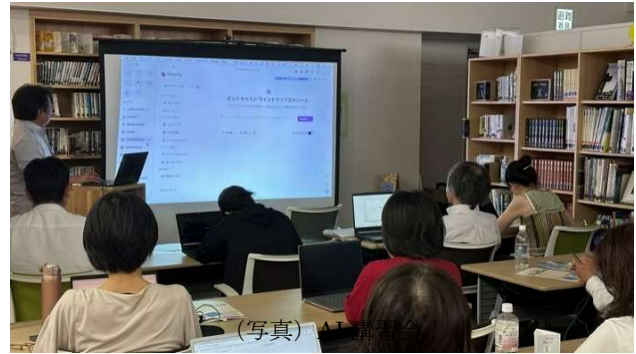
図書機能に関しては、オンライン上での書籍の検索システムは今後も引き続き実用化に向けて検討するとともに、ISBN を活用した図書の貸出システム構築も、令和 5 年度導入まちラボ「自動改札」の開発に携わった団体・考える人により進められ、早ければ令和 8 年度の運用開始を目指している。

まちラボにおける持ち込みイベントも活発になってきており、特筆すべきは 2025 年 8 月 2 日～8 月 17 日にかけて「ポートピア花壇捜索隊」の著者 Towers 氏による「ポートピア'25」がまちラボの一角で開催された。Towers 氏所蔵のポートピアグッズ閲覧や記念スタンプコーナーが設置され、ポートピア博ファンを中心とした層へのまちラボ周知も担った。また、昨年度も 2026 年 1 月 16 日～18 日にかけて「こうべあいウィーク」を開催。貸室やまちラボの常連の方にも参加をしていただき、「スナック復興」や「復興バル」を中心に有意義な場を生み出すこととなった。

地域・関連団体の連携としては、こちらも引き続きスタッフ今地による元町商店街を中心に元町夜市出店など商店街開催のイベントへの協力や、元町映画館とのコラボイベントを開催した。こちらも昨年度に続き、館長の友人の行政職員が中心となったイベント「最近何処行」や、新スタッフ大原の友人による福島などの復興支援を考える「きっかけ食堂」のまちラボ開催なども始まり、20～30 年代の若い層へのアプローチがより促進できた一年であった。

また、広報で運用しているインスタグラムのフォロワーが新スタッフ大原の尽力により約 2 倍の 1,030 人（4 月 15 日現在）に跳ね上がり、「インスタで知った」という来館者も散見され、効果を発揮している。

次項において詳細が記されているように 5 階ワークスペースは満室となっており、現時点では空室期



(写真)



(写真) ポートピア'25

間はほぼ発生しない見込みである。エレベーターなどの定期点検による利用制限が予定される場合は、今年度も引き続き事前にメーリングリストにて告知をする。

**○会館床賃貸事業**（自主事業／2025年4月1日～2026年3月31日）

こうべまちづくり会館の5階ワークスペース8ブース、1階古書店並びに自動販売機設置場所を神戸市から目的外使用として借り受け、使用者と会館使用契約書（自動販売機は設置協定書）を交わし管理業務を行った。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
501号室	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
502号室	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
503号室	-/F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
504号室	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
505号室	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E	E
506号室	F/-	-/J	J	J	J	J	J	J	J	J	J	J
507号室	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G
508号室	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
古書店	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
自販機 (円)	1,285	2,451	1,900	2,796	3,515	2,527	2,139	1,556	1,410	1,409	1,846	1,746

※506号室使用団体が4月途中から503号室に移動、506号室は5月途中から新規団体が使用。

※アルファベットは利用団体を示している。(名称と関連性なし)

**○駐車場賃貸事業**（自主事業／2025年4月1日～2026年3月31日）

市有不動産である路外駐車場（元町通5丁目駐車場）5区画を神戸市より借り受け、使用者と自動車保管場所仕様契約書を交わし管理業務を行った。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区画001	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
区画002	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a
区画003	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e	e
区画004	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c	c
区画005	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d	d

※アルファベットは利用団体を示している。(名称と関連性なし)

**(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業**

**■ニュース等の発行**

神戸まちづくり研究所の活動内容を報告する動画として配信した。

- ・神戸まち研ニュース 003 (251105) 【URL】 [https://www.youtube.com/watch?v=iFNJRrS8s\\_8](https://www.youtube.com/watch?v=iFNJRrS8s_8)  
「あいウィーク開催！1月16～18日」「能登支援 支援会議\_やっています」「神戸市総合基本計画 WS\_

終わりました」「中央区マンションコミュニティ AD 派遣」「i ウォーク 1月11日\_来年もやります」

・神戸まち研ニュース 004 (260203) 【URL】<https://www.youtube.com/watch?v=MNrtM6Qt-vY>

「1/11 i ウォーク開催!」「②1/16-18 あいウィーク開催! i) 全体概要 ii) 神戸のまちづくり原点を語る iii) 能登カフェ iv) 能登支援会議 v) まち協サミット vi) その他」

## ■1.17 関連企画「こうべあいウィーク」の開催

「こうべあいウィーク」として、こうべまちづくり会館全館を活用し、防災・復興まちづくりに関する展示・セミナー・フォーラムを総合的に開催した。

- ・1月16日(金) サブローの部屋1 / 市民まちづくりから考える神戸
- ・1月17日(土) モーニング復興 / おんぶ紐試着会 / サブローの部屋2 / ちなみ交通トピック 私の見たリスボンと神戸 / 神戸のまちづくり その原点を語る / 能登カフェ
- ・1月18日(日) サブローの部屋3 / その時あなたはどっちを選ぶ? ゲームを通して親子で防災を考えよう! / まちづくり協議会サミット / 私たちは能登へ行ってきました。 / カリンバミニコンサート・体験会 / 能登カフェ / 能登支援会議



期間中開催： 展示「神戸の震災と復興まちづくり」  
／非常食 de お弁当 / スナック復興

(写真)「神戸のまちづくり その原点を語る」

## ■能登支援会議

能登半島地震の復興支援に携わる関係者が参加し、情報交換を行う場を2カ月に1度の頻度で計6回開催した。

- ・ 2025年4月25日(金) 対面(まちラボ)・Zoom
- ・ 2025年7月26日(土) 対面(まちラボ)・Zoom
- ・ 2025年8月28日(土) Zoom
- ・ 2025年10月8日(水) Zoom
- ・ 2026年1月18日(日) 対面(まちラボ・あいウィークのイベントとして実施)
- ・ 2026年3月2日(月) Zoom

## ■団体・実行委員会・ネットワーク等に参加

- ・ ひょうご市民活動協議会 (HYOGON) (正会員 / 運営委員: 北村胡桃)
- ・ 近畿災害対策まちづくり支援機構 (正会員 / 代表委員: 野崎隆一)
- ・ こうべ団地みらい創生機構 (正会員 / 代表理事: 野崎隆一)
- ・ 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議 (構成団体 / 委員: 浅見雅之)
- ・ 明舞再生塾 (構成団体 / 担当: 野崎隆一)
- ・ こうべあいウォーク 2026 実行委員会 (構成団体 / 実行委員長: 野崎隆一)

- ・ ひょうご中間支援団体ネットワーク（登録団体／担当：浅見雅之）
- ・ ひょうごふるさとづくり交流会議（登録団体／担当：浅見雅之）
- ・ ESD 推進ネットひょうご神戸（RCE Hyogo-Kobe）（代表：野崎隆一）
- ・ ひょうごボランティアプラザ運営協議会（委員：野崎隆一）
- ・ 防災ツーリズム推進事業企画委員会（委員：浅見雅之）
- ・ しみん基金 KOBE（理事：野崎隆一）
- ・ 神戸建築祭（実行委員長：松原永季） など

### 3. 事業実施体制

#### (1) 会議に関する事項

##### ■通常総会

開催日	2025年5月27日（火） 19時～20時
開催場所	まち活拠点まちラボ
出席者	26名（うち書面表決10名） ※正会員数35名
議事内容	第1号議案「2024年度事業報告および2024年度決算報告承認の件」 第2号議案「2025年度事業計画および2025年度活動予算承認の件」

##### ■理事会（隔月開催）

会議名	項目	内容
4月臨時理事会	日時 会場 出席 議事	2025年4月25日（金）9時～10時45分 Zoom ミーティング 理事8名／9名中（他2名） 総会議案、スケジュール、2025年度事業進捗確認
5月理事会	日時 会場 出席 議事	2025年5月16日（金）9時～10時30分 Zoom ミーティング 理事9名／9名中（他3名） 総会議案、総会当日進行、2025年度事業進捗確認
6月理事会	日時 会場 出席 議事	2025年7月18日（金）9時～10時30分 Zoom ミーティング 理事6名／9名中（他2名） 総会振り返り、事務所引越しと今後の会計担当について、自動運転社会実装支援事業、新会員、こうべまちづくり会館事業、2025年度事業進捗確認、会計報告
9月理事会	日時 会場 出席 議事	2025年9月19日（金）9時～10時30分 Zoom ミーティング 理事6名／9名中（他2名） 事務所引越しと今後の会計担当、こうべまちづくり会館事業、自動運転社会実装支援事業、新会員、会計報告

11月理事会	日時 会場 出席 議事	2025年11月21日(金)9時~10時30分 Zoomミーティング 理事6名/9名中(他2名) 川村氏の業務引継ぎについて、こうべiウォーク、こうべまちづくり会館事業、2025年度事業進捗確認、会計報告
1月理事会	日時 会場 出席 議事	2026年1月16日(金)9時~10時30分 Zoomミーティング 理事8名/9名中(他2名) こうべまちづくり会館事業、こうべiウォーク、川村氏の業務引継ぎについて、2025年度事業進捗確認、2026年度事業アイデア出し、会計報告
3月理事会	日時 会場 出席 議事	2026年3月27日(金)9時~10時30分 Zoomミーティング 理事8名/9名中(他3名) こうべまちづくり会館事業、川村氏の業務引継ぎについて、2025年度事業進捗確認、総会日程、会計報告、2026年度事業計画

#### ■事務局会議(毎月開催)

会議名	項目	内容
4月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年4月15日(火)10時~11時30分 まちラボ・Zoomミーティング 松原、北村、初田、野崎、川村、古川 総会資料、こうべまちづくり会館運営状況確認、今後の事務局運営、事業進捗確認、パンフレット
5月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年5月8日(木)14時~15時30分 まちラボ・Zoomミーティング 松原、北村、初田、野崎、川村、古川 総会資料、こうべまちづくり会館運営状況確認、事業収支の明確化、今後の事務局運営、事業進捗確認、パンフレット
6月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年6月3日(火)10時~11時30分 まちラボ・Zoomミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、パンフレット、川村氏業務引継ぎについて、事務所引越し、事業進捗確認、自動運転社会実装支援事業、能登支援会議
7月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年7月1日(火)10時~11時30分 Zoomミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、パンフレット、新会員、川

		村氏業務引継ぎ、事務所引越し、事業進捗確認、神戸市総合基本計画プロポーザル
8月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年8月5日(火) 10時~11時30分 Zoom ミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、菅、川村、古川 能登支援会議、こうべまちづくり会館運営状況確認、市町へのあいさつまわり、川村氏業務引継ぎ、事務所引越し、事業進捗確認
9月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年9月2日(火) 10時~11時30分 Zoom ミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、川村氏業務引継ぎ、事務所引越し、事業進捗確認、神戸市総合基本計画 WS
10月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年10月7日(火) 10時~11時30分 Zoom ミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、荒川区議会視察、事務所引越、事業進捗確認、神戸市総合基本計画 WS、市町あいさつまわり
11月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年11月4日(火) 10時~11時30分 まちラボ、Zoom ミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、こうべあいウィーク、荒川区議会視察、川村氏業務引継ぎ、事業進捗確認、能登支援会議、懇親会、まち研の記録の整理、こうべiウォーク、民間事業者との連携
12月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2025年12月2日(火) 10時~11時30分 Zoom ミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、川村氏業務引継ぎ、事業進捗確認、能登支援、市町あいさつまわり、まち研の記録の整理
1月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2026年1月6日(火) 10時~11時30分 まちラボ、Zoom ミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、こうべあいウィーク、川村氏業務引継ぎ、事業進捗確認
2月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2026年2月2日(火) 10時~11時30分 まちラボ、Zoom ミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、こうべあいウィーク、団地再生モデル事業、川村氏業務引継ぎ、市町あいさつまわり

3月事務局会議	日時 会場 出席 議事	2026年3月3日(火) 10時～11時30分 Zoom ミーティング 松原、浅見、北村、初田、野崎、川村、古川 こうべまちづくり会館運営状況確認、こうべあいウィーク、団地再生モデル事業、狩口センター利活用事業、川村氏業務引継ぎ、市町あいさつまわり、懇親会、事業進捗確認、まちづくり関連資料保管
---------	----------------------	--

## (2) 事務局体制

**■事務局長**：北村胡桃     **事務局次長**：初田直哉     **事務局スタッフ**：川村憲之（短時間勤務職員）  
**会館管理運営業務・会館自主事業担当職員**：古川建太（常勤正職員）、戸川由子（常勤正職員）、  
大原一哲（短時間勤務職員）、今地春乃（パート職員）、  
辻信一（パート職員）